



CYME および CYMDIST による保護装置協調

CYMTCC ソフトウェアはスタンドアロン型のアプリケーションですが、CYME または CYMDIST とともにインストールすることで、ユーザーは協調機能にアクセスできるようになり、その結果、保護データを必要とする CYMDIST や CYME の解析から直接実行して、単一のプラットフォーム上で協調方式を設計できるようになります。

プログラムの特徴

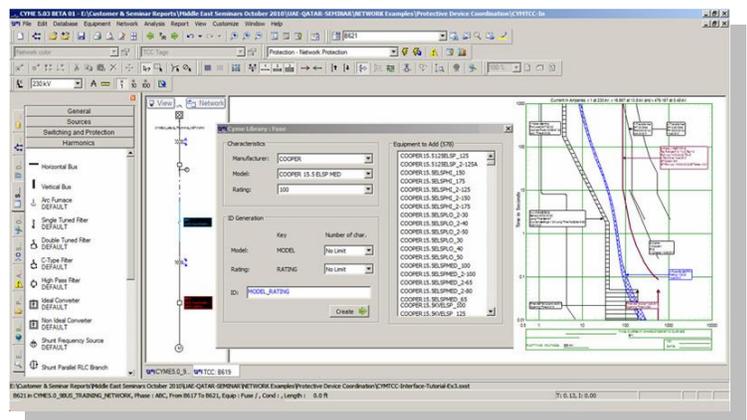
利用可能な CYMTCC の機能は以下の通りです。

- ヒューズ、継電器、回路遮断器、電動機始動、ケーブルと変圧器の損傷の各曲線を可視化する時間-電流プロットの表示
- 保護のリーチ、負荷、および協調を決定するための保護・協調解析機能

保護装置の時間-電流プロット

- 電力網の単線結線図上で選択・ハイライトされる協調経路
- CYME / CYMDIST 電力潮流・短絡解析モジュールとのシームレスなインターフェース
- 装置の負荷と最小・最大短絡レベルが自動計算され、保護協調機能で即座に利用可能
- ライブラリ内の 15000 種類の装置を用いた、時間-電流曲線のプロットと装置設定値のレポートの生成

- 標準の Keuffel & Esser log-log 用紙または普通紙上への曲線のプロット
- 単線結線図または時間-電流曲線プロットのファイル出力による他のレポートへの挿入
- どの時点、どの装置に対しても設定値の確認および変更が可能
- マウスまたは装置マージン機能を用いた画面上での協調マージンの測定
- 電流目盛り、プロット電圧値、タイトル欄、曲線の色、線の太さ、および装置 ID など細部の調整



CYME および CYMDIST による 保護装置協調

単一ソフトウェアプラットフォーム上で保護データを必要とする解析の実行と保護方式の設計

保護装置の協調解析

保護装置の協調解析機能を用いることで、ユーザー定義の基準に基づき、検討中の装置曲線が協調しているかどうかを検証することができます。

解析は、単一の給電線、複数の給電線、またはネットワーク全体で実施可能です。また、ネットワーク内の一部または全部の給電線上の保護装置に対して自由にレポートを生成することができます。

主な解析機能は次のとおりです。

- 装置の連続するペア間における協調基準の検証、調整された曲線が最小-最大故障電流の範囲内で交差している装置のレポート
- 各装置に対する保護のリーチ
- 通常運転条件下における定格電流のパーセンテージとしての装置負荷
- 保護装置が許される最大故障除去時間を超えているかどうかに基づく故障除去
- 一次および二次保護装置
- ヒューズの溶断または節約オプション
- 変圧器とケーブルの損傷曲線、および電動機始動曲線

